

くまもと政令市Q&A

7.くまもとが目指す政令指定都市とは？

Q 熊本市がめざす都市像は？

A 熊本市では、以下のような政令市像を目指しています。

● 県と同等の権限と財源を持ち、地域住民の皆さんに密着した政令指定都市の実現

● 近隣市町村との合併により、都市ゾーンの拡大と互いの地域の自然や特性を生かした都市づくり



● 身近で細やかな市民サービスと地域の実情に応じた個性あるまちづくりの展開
● 事務権限の移譲を受け、行政事務をスピードアップ
● 財政上の特例により、大都市にふさわしいまちづくり
● 九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業や広域交通網の整備により、人・もの・情報の交流が促進される活力ある都市



● 多様な都市機能と豊かな自然とが調和し、地域の互いの特性を生かした九州の中央部に位置する政令指定都市
● 熊本県域全体をけん引する、力強く、活力ある都市

Q 熊本都市圏ビジョンではどうなっているの？

A 政令指定都市を実現させ、将来の道州制移行の際の州都を目指すこととしています。

平成19年2月に熊本都市圏を構成する16市町村で取りまとめられました。

九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業を控え、また、道州制(州都)議論も高まっており、都市間・都市圏間の競争がますます激化することが予想されます。そのような熊本都市圏を取り巻く環境が、大きく変化している中、熊本都市圏を構成する市町村(16市町村)が、連携して取り組むべき施策として、「政令指定都市を中心とした九州中央の拠点づくりを進める」という基本目標を掲げています。

Q 熊本縣市町村合併推進構想での位置付けは？

A 「政令指定都市が必要」と明記しています。

住民に最も身近な市町村に権限と財源を移譲するという地方分権推進の観点からみても、政令市は、現在の地方自治制度の中では最も充実した市町村である政令市移行を目指した取り組みは、地方分権の大きな流れに沿うものと考えています。

今後、平成23年の九州新幹線鹿児島ルート of 全線開業により都市間競争の一層の激化が予想される中で、県都である熊本市が政令市の移行に伴う権限等の拡大を生かし、都市圏の社会資本整備に向けた取り組みを進めること等により、九州の拠点としての機能がさらに高まり、県内の経済活性化や県土全体の発展に資することが期待されます。こうしたことに加え道州制の議論の高まり等を踏まえれば、熊本市の政令市移行は必要です。

